

1 項土木管理費は2,015万6,047円で、5 %の増、212ページに進み、8 款 2 項道路橋りょう費は8 億3,318万1,353円で、21.1%の増、これは道路除雪事業の増加が主な要因となっております。

218ページに進み、8 款 3 項河川費は5,239万7,661円で、75.5%の増、緊急自然災害防止対策事業の皆増によるものです。

220ページに進み、8 款 4 項都市計画費は5 億1,319万3,443円で、31.1%の減、これは都市構造再編集中支援事業の減少が主な要因となっております。

224ページに進み、8 款 5 項住宅費は1 億979万3,616円で、5.4%の減となりました。

227ページに進み、9 款消防費は6 億2,792万9,799円で、6.3%の減、これは非常備消防管理運営事業や防災ラジオ整備事業の減によるものとなっております。

232ページに進み、10款教育費は14億2,505万9,959円で、3.4%の減、1 項教育総務費は2 億341万4,331円で、4.4%の増、237ページに進み、10款 2 項小学校費は2 億9,464万5,441円で、14.2%の増、こちらは教師用指導図書購入が主な要因となっております。

243ページに進み、10款 3 項中学校費は1 億2,645万6,868円で、69.4%の減、こちらについては、中学校施設環境改善事業の皆減によるものでございます。

248ページに進み、10款 4 項社会教育費は4 億6,671万5,819円で、67%の増、こちらは文化的景観保護事業や置賜生涯学習プラザ、総合体育館大規模改修工事によるものでございます。

260ページに進み、10款 5 項保健体育費は3 億3,382万7,500円で、1.5%の増、268ページに進み、11款災害復旧費は1 億5,920万196円で、令和4年8月の豪雨災害の復旧に要した事業費となっております。

270ページに進み、12款公債費は15億5,208万

1,973円で、28.4%の減、271ページに進み、13 款予備費は、予備費支出及び流用増減として2,758万8,110円を計上し、不用額は241万1,890円となっております。

以上、歳出合計では20.8%減少し、173億3,018万9,206円となっております。

最後に、実質収支に関する調書についてご説明申し上げます。

327ページをお開きください。左側が一般会計の調書でございます。歳入総額が178億2,439万6,247円、歳出総額が173億3,018万9,206円、歳入歳出差引額が4 億9,420万7,041円となっております。翌年度に繰り越すべき財源としては、繰越明許費繰越額の6,197万225円となっておりますので、実質収支額としては4 億3,223万6,816円となっております。

以上が令和6年度長井市一般会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和6年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び令和6年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

桑嶋 徹市民課長。

○桑嶋 徹市民課長 おはようございます。

初めに、令和6年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要をご説明申し上げます。

事項別明細書によりご説明いたしますので、決算書の273ページをお開きください。歳入のほうからご説明申し上げます。

273ページ、1 款国民健康保険税は、調定額4 億7,350万5,554円に対し、収入済額は前年度対比2.0%減の4 億4,211万643円となっております。調定額のうち270万400円を不納欠損処分とし、収入未済額は2,869万4,511円となっております。

274ページをお開きください。以下、令和6年度の収入済額について申し上げます。増加、

減少につきましては、令和５年度との比較でございます。

２款使用料及び手数料は17万8,600円で、9.1%の減、３款国庫支出金は365万1,000円で、363万4,000円の増ということで、こちらにつきましては、健康保険証とマイナンバーカードの一体化に伴う国庫補助金の増でございます。

275ページ、４款県支出金は16億9,588万7,000円で、2.3%の減、276ページ、５款財産収入は5万1,858円で、4万8,411円の増、６款繰入金は1億3,222万4,921円で、4.9%の減、278ページ、７款繰越金は3億8,521万8,094円で、19.4%の増、８款諸収入は470万6,312円で、330.8%の増となっております。

以上、歳入合計は26億6,402万8,428円で、前年度対比で1,334万6,610円、0.5%の増となっております。

次に、歳出でございます。279ページをご覧ください。令和６年度の支出済額について申し上げます。増加、減少につきましては、令和５年度との比較でございます。

１款総務費は2,197万9,426円で、29.3%の増、281ページ、２款保険給付費は16億4,571万325円で、0.6%の減となっております。そのうち、１項療養諸費は14億1,811万3,218円で、1.2%の減、２項の高額療養費は2億2,464万6,477円で、2.7%の増となっております。

283ページ、３款国民健康保険事業費納付金は5億1,277万3,910円で、5.4%の減となり、１項医療給付費分は3億3,162万3,732円で、6.3%の減、284ページ、２項後期高齢者支援金等分は1億4,012万4,380円で、3.4%の減、３項介護納付金分は4,102万5,798円で、3.9%の減となっております。

４款財政安定化基金拠出金の支出はございませんでした。

285ページ、５款保険事業費は3,739万7,531円で、3.8%の減となっております。

６款基金積立金及び、287ページの７款公債費の支出はございませんでした。

８款諸支出金は4,559万3,663円で、298.9%の増、288ページ、９款予備費からの充用はございませんでした。

以上、歳出合計は22億6,345万4,855円で、前年度対比200万8,869円、0.1%の減となっております。

18ページのほうにお戻りいただきたいのですが、歳入歳出の差引き額でございます。歳入歳出差引残高は4億57万3,573円となり、全額を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

続きまして、令和６年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

319ページ、こちらをお開きください。歳入についてご説明申し上げます。

１款後期高齢者医療保険料は、調定額３億1,559万8,797円に対し、収入済額は前年度対比13.6%増の３億1,441万600円となっております。調定額のうち16万3,600円を不納欠損処分とし、収入未済額は102万4,597円となっております。

以下、令和６年度の収入済額について申し上げます。増加、減少につきましては、令和５年度との比較でございます。

２款使用料及び手数料は4万4,800円で、15.2%の増、320ページ、３款繰入金は1億1,733万6,481円で、7.6%の増、４款繰越金は773万9,223円で、50.8%の増、５款諸収入は34万1,100円で、52.5%の増となっております。

321ページ、歳入合計でございますが、4億3,987万2,204円で、前年度対比で4,870万8,963円、12.5%の増となっております。

次に、歳出についてご説明申し上げます。322ページをお開きください。令和６年度の支出済額について申し上げます。増加、減少につ

きましては、令和5年度との比較でございます。

1 款総務費は471万7,113円で、3.4%の減、323ページ、2 款後期高齢者医療広域連合納付金は4億2,593万3,368円で、12.6%の増、3 款諸支出金は9万7,400円で、53.3%の減となっております。

324ページの歳出合計でございますが、4億3,074万7,881円で、前年度対比4,732万3,863円、12.3%の増となっております。

36ページのほうにお戻りください。歳入歳出差引きでございます。歳入歳出差引残額は912万4,323円となっております。全額を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

以上が令和6年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び令和6年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和6年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 それでは、令和6年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要について説明いたします。

289ページをお開きください。これから申し上げますのは、歳入については、令和6年度の収入済額、歳出につきましては、支出済額でございます。また、増加、減少につきましては、令和5年度との比較でございます。

それでは、歳入でございます。

1 款分担金及び負担金7,916万4,000円で、県及び長井市を除く沿線1市2町の負担金でございます。前年度と同額でございます。

3 款繰入金は2億635万1,000円で、73%の増で、一般会計繰入金及び基金繰入金でございます。

290ページをお開きください。4 款諸収入は

190万2,604円、77%の増で、令和5年度山形鉄道運営助成基金補助金返還金でございます。

以上、歳入の合計は40%増の2億8,749万8,738円となりました。

続きまして、歳出でございます。291ページをお開きください。

1 款山形鉄道助成費は1億7,751万5,000円で、98%の増でございます。

2 款基金積立金は1億998万3,738円で、5%の減でございます。

歳出の合計は、歳入同様、40%増の2億8,749万8,738円となり、歳入歳出差引残額はゼロでございます。

以上が令和6年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和6年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

菊地千賀健康スポーツ課長。

○菊地千賀健康スポーツ課長 おはようございます。

令和6年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算概要についてご説明いたします。

事項別明細書によりご説明申し上げますので、決算書のほうの293ページをお開きください。歳入からご説明いたします。

なお、これから申し上げるのは、令和6年度の収入済額、増加、減少につきましては、令和5年度との比較でございます。

1 款療養費交付金は2,209万5,125円で、11.7%の増、2 款利用料は223万1,829円で、19.6%の増、3 款繰入金は1,472万504円で、76.2%の増、4 款繰越金は10万942円で、0.8%の増、5 款諸収入は43万8,700円で、763.6%の増。

歳入合計は3,958万7,100円で、前年度対比

942万9,422円、31.3%の増となっております。

続きまして、歳出です。295ページをお開きください。

1款1項1目訪問看護事業費は、1節報酬から18節負担金、補助金及び交付金の項目において、令和6年度の支出済額3,948万7,017円となりました。

296ページ、歳出の合計は3,948万7,017円で、前年度対比943万121円で、31.4%の増となりました。

歳入歳出の差引き残額につきましては、26ページのほうにお戻りいただき、歳入歳出の差引き残高は10万83円となり、翌年に繰り越しさせていただくものでございます。

以上が令和6年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和6年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長。

○渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長 おはようございます。

令和6年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

なお、これから申し上げる数字につきましては、歳入については収入済額、歳出につきましては支出済額、また、増減につきましては令和5年度決算額との比較になりますので、よろしくお願いいたします。

事項別明細書によりご説明申し上げますので、決算書の297ページをご覧ください。最初に歳入でございますが、1款介護保険料は6億5,728万459円、0.3%の増、2款使用料及び手数料は5万900円、3款国庫支出金は7億7,039万5,953円で、5%の減、299ページ、4款支払基金交付金は8億2,648万円で、1.4%の減、5

款県支出金は4億6,405万1,410円で、2.2%の増、6款財産収入は6万8,632円、300ページ、7款繰入金は4億4,418万8,712円で、0.5%の増となりました。

301ページ、8款繰越金は1億214万6,080円で、2.2%の減、9款諸収入は660万8,999円で、13.5%の減。

以上、歳入合計は32億7,127万1,145円で、4,104万3,334円、1.2%の減でした。

次に、歳出についてご説明申し上げます。303ページをご覧ください。

1款総務費は2,811万5,307円、16.3%の減、305ページ、2款保険給付費は29億5,603万1,705円、1.8%の増、1項介護サービス等諸費は27億5,681万2,060円で、1.7%の増です。

306ページ、2項介護予防サービス等諸費は5,234万5,337円で、6.3%の増となりました。

309ページ、3款地域支援事業費は1億6,787万7,773円、2.4%の増となり、1項介護予防・生活支援サービス事業費は5,782万4,808円で、1.1%の増、311ページ、2項一般介護予防事業費は3,793万8,995円で、3.1%の減、312ページ、3項包括的支援事業・任意事業費は7,189万3,574円で、6.7%の増となりました。

317ページに参りまして、4款基金積立金は732万5,632円で、81.1%の減、5款諸支出金は8,834万4,560円で、24.1%の増、318ページ、6款予備費の支出はございませんでした。

以上、歳出合計は32億4,769万4,977円で、3,752万6,578円増の1.2%増となりました。

32ページをご覧くださいまして、歳入歳出差引残額は、2,357万6,168円となり、翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

以上が令和6年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 次に、認第1号の令和6年度

長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について。

若月由紀建設課長。

○若月由紀建設課長 おはようございます。

令和6年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

325ページをお開きください。事項別明細書によりご説明申し上げます。

初めに、歳入につきまして、収入済額を申し上げます。

1款財産収入は、基金運用利子1,647円、2款繰入金は、宅地開発基金繰入金19万8,700円、3款市債は、宅地開発事業債1,980万円でございます。

以上、歳入合計は2,000万347円で、前年度対比1,475万2,555円、42.4%の減となりまして、調定額と同額でございます。

続いて、歳出でございます。326ページをお開きください。支出済額を申し上げます。

1款宅地開発事業費は、1項宅地開発総務管理費が、報償費、宅地開発基金積立金などで10万9,747円、2項宅地造成費が、成田地内の分譲予定地の測量設計等業務委託料1,963万600円となり、歳出合計は2,000万347円で、前年度対比1,475万2,555円の減、予算現額に対する執行率は97.2%となりました。

なお、歳入歳出差引残額はゼロ円で、繰越額はございません。

以上が令和6年度宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

認第2号 令和6年度長井市水道事業会計決算認定について

認第3号 令和6年度長井市下水道事業会計決算認定について

議案第46号 令和6年度長井市水

道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第47号 令和6年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○浅野敏明委員長 次に、認第2号 令和6年度長井市水道事業会計決算認定についてから議案第47号 令和6年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてまでの4件について。

渡邊恵子上下水道課長。

○渡邊恵子上下水道課長 認第2号 令和6年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明いたします。

決算書、水道1ページをお開きください。収益的収入及び支出、収入、第1款水道事業収益の決算額は7億306万8,926円となりました。次に、支出、第1款水道事業費用の決算額は5億9,133万303円となりました。

2ページをご覧ください。資本的収入及び支出、収入、第1款資本的収入の決算額は1億9,884万2,000円となりました。

3ページにお進みいただき、支出、第1款資本的支出の決算額は5億2,862万9,530円となりました。

表の下に記載のとおり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億2,978万7,530円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額などをもって補填をいたしました。

4ページをご覧ください。損益計算書でございます。1、営業収益は、給水収益から他会計繰入金までの合計で5億9,515万3,598円、2、営業費用は、浄水及び配給水費からその他営業費用までの合計で5億531万8,649円、営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は8,983万

4,949円となりました。

5 ページにお進みください。3、営業外収益は、受取り利息及び配当金から長期前受金戻入までの合計で4,908万6,796円、4、営業外費用は、支払利息と雑支出の合計で4,275万2,693円、営業外収益から営業外費用を差し引いた額に営業利益を加えた経常利益は9,616万9,052円となりました。

5、特別利益はゼロ、6、特別損失は、当期概算料金の精算還付金などで255万7,600円、経常利益に特別利益を加え、特別損失を差し引いた当年度純利益は9,361万1,452円となり、これに前年度繰越利益剰余金とその他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰余金は2億2,261万5,558円となりました。

6 ページをご覧ください。令和6年度長井市水道事業剰余金計算書でございます。資本金と剰余金のうち、資本剰余金は当年度変動はございません。利益剰余金につきましては、減債積立金で7,000万円の取崩し、未処分利益剰余金で減債積立金取崩し分と当年度純利益分が加算となり、2億2,261万5,558円、利益剰余金と資本剰余金の合計額に資本金を加えた資本合計は27億4,562万1,074円となりました。

7 ページの令和6年度長井市水道事業剰余金処分計算書案につきましては、後ほど議案第46号でご説明をいたします。

8 ページをご覧ください。貸借対照表でございます。資産の部、1、固定資産は、有形固定資産から投資までの合計で60億2,996万9,158円、9 ページにお進みください。2、流動資産は、現金及び預金から貸倒引当金までの合計で10億875万5,904円、固定資産と流動資産を合わせた資産の部合計は70億3,872万5,062円となりました。

次に、負債の部、3、固定負債は26億5,544万3,021円、4、流動負債は、企業債から引当金までの合計で3億3,748万5,606円、10ページ

をご覧ください。5、繰延収益は、長期前受金から収益化累計額を差し引き、13億17万5,361円、固定負債及び流動負債、繰延収益を合わせた負債の部合計は42億9,310万3,988円となりました。

資本の部につきましては、先ほど6 ページ、剰余金計算書でご説明のとおり、合計額が27億4,562万1,074円、負債の部と資本の部の合計では70億3,872万5,062円となりました。

11ページから32ページまでは、令和6年度水道事業報告書となっております。

33ページをお開きください。33ページ、キャッシュフロー計算書は、1 事業年度の資金の動きを3つの活動区分で示したものでございます。

1、業務活動によるキャッシュフローにつきましては、2億9,194万4,155円のプラスとなりました。2、投資活動によるキャッシュフローは、2億2,222万5,850円のマイナス、3、財務活動によるキャッシュフローは、7,087万6,149円のマイナスでございます。資金増減額の合計はマイナス115万7,844円で、令和6年度末における資金残高は9億8,584万6,835円となりました。

34ページ以降、収益費用明細書、資本的収支明細書のほか、固定資産明細書などを掲載しておりますので、ご参照ください。

以上が令和6年度水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、関連議案、議案第46号 令和6年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明をいたします。

議案第46号をご覧ください。本案は、令和6年度決算に基づく未処分利益剰余金2億2,261万5,558円のうち、7,000万円を資本金に組み入れ、1億円を減債積立金として積み立て、残余を次年度に繰り越す旨、地方公営企業法第32条第2項の規定により、提案するものでございま

す。

添付の資料のとおり、これによって、資本金残高は19億816万4,312円となり、資本剰余金については変動ございません。未処分利益剰余金の処分後残高は5,261万5,558円となり、これを次年度に繰り越すものでございます。

令和6年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、説明は以上でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

次に、認第3号 令和6年度長井市下水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書にお戻りいただきまして、決算書、下水道1ページをお開きください。

収益的収入及び支出、収入、第1款公共下水道事業収益から第4款浄化槽事業収益まで4事業を合わせた決算額は、2ページにお進みいただきまして、9億8,473万8,785円となりました。

次に、支出、第1款公共下水道事業費用から、3ページ、第4款浄化槽事業費用まで4事業を合わせた決算額は9億6,931万6,518円となりました。

4ページをご覧ください。資本的収入及び支出、収入、第1款公共下水道事業資本的収入から、5ページ、第4款浄化槽事業資本的収入まで4事業を合わせた決算額は2億5,396万1,100円となりました。

6ページをご覧ください。支出、第1款公共下水道事業資本的支出から、7ページ、第4款浄化槽事業資本的支出まで4事業を合わせた決算額は6億4,456万1,509円となりました。

欄外に記載のとおり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億9,060万409円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額などをもって補填いたしました。

8ページをご覧ください。損益計算書でございます。1、営業収益は、下水道使用料から他会計負担金までの合計で3億9,474万1,755円、

2、営業費用は、管渠管理費からその他営業費用までの合計で8億7,701万4,162円、営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は、マイナス4億8,227万2,407円となりました。

9ページにお進みください。3、営業外収益は、受取利息及び配当金から雑収益までの合計で5億5,095万2,392円、4、営業外費用は、支払利息及び企業債取扱諸費から雑支出までの合計で5,603万2,128円、営業外収益から営業外費用を差し引いた額に営業利益を加えた経常利益は1,264万7,857円となりました。5、特別損失の過年度損益修正損は、当期概算料金の精算還付金でございます。経常利益から特別損失を差し引いた当年度純利益は1,175万5,778円となり、これに前年度繰越利益剰余金を加えた当年度未処分利益剰余金は1,679万8,049円となりました。

10ページをご覧ください。令和6年度長井市下水道事業剰余金計算書でございます。資本金と剰余金のうち、資本剰余金は、当年度、変動ございません。利益剰余金につきましては、当年度純利益が加算され、3,679万8,049円、利益剰余金と資本剰余金の合計額に資本金を加えた資本合計は36億7,896万1,140円となりました。

11ページの令和6年度長井市下水道事業剰余金処分計算書案につきましては、後ほど、議案第47号でご説明いたします。

12ページをご覧ください。貸借対照表でございます。資産の部、1、固定資産は、合計で135億325万4,785円、2、流動資産は、現金及び預金から貸倒引当金までの合計で1億2,070万9,601円、固定資産と流動資産を合わせた資産の部合計は136億2,396万4,386円でございます。

13ページにお進みください。負債の部、3、固定負債は35億2,938万1,624円、4、流動負債は、企業債から引当金までの合計で5億7,371万9,963円、5、繰延収益は58億4,190万1,659円で、負債の部合計は99億4,500万3,246円でご

ざいます。

14ページ、資本の部につきましては、先ほど剰余金計算書でご説明のとおりで、これに負債を加えた負債、資本の合計は136億2,396万4,386円でございます。

15ページから31ページまでは、令和6年度長井市下水道事業報告書となっております。

32ページをお開きください。32ページ、キャッシュフロー計算書でございます。

1、業務活動によるキャッシュフローにつきましては3億7,915万6,768円のプラスとなりました。2、投資活動によるキャッシュフローは1,732万6,611円のプラス、3、財務活動によるキャッシュフローは5億552万8,508円のマイナスです。資金増減額の合計はマイナス1億904万5,129円で、令和6年度末における資金残高は6,852万4,081円となりました。

33ページ以降、収益費用明細書、資本的収支明細書のほか、建設改良工事の概要などを掲載しておりますので、ご参考ください。

下水道事業会計決算について説明は以上でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、関連議案、議案第47号 令和6年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明を申し上げます。

議案第47号をご覧ください。本案は、令和6年度決算に基づく未処分利益剰余金1,679万8,049円のうち、1,000万円を減債積立金として積み立て、残余を繰り越すことについて提案するものでございます。

添付の資料のとおり、資本金及び資本剰余金については増減ございません。未処分利益剰余金処分後残高は679万8,049円となり、これを次年度へ繰り越すものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○浅野敏明委員長 以上で概要の説明が終わりま

した。

令和6年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○浅野敏明委員長 これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

鈴木富美子委員の総括質疑

○浅野敏明委員長 順位1番、議席番号9番、鈴木富美子委員。

○9番 鈴木富美子委員 おはようございます。ともに長井の鈴木富美子です。

初めに、2款1項6目019旧長井小学校第一校舎活用事業のうちの起業家教育プログラム構築支援業務委託料412万6,958円について、総合政策課長にお伺いいたします。

起業体験事業は、令和2年度に委託料230万9,234円で始まり、令和3年度は277万2,440円、令和4年度は352万9,944円、令和5年度は479万3,892円と推移してまいりました。令和5年度の参加者は、3回ほどに分けて開催していますので、小・中・高に分けて開催されて、合計30名の参加でしたが、令和6年度は、今年の3月8日に開催され、小学校8名、中学校1名ということでございました。

既存の職業にかかわらず、新しい仕事を見つけ出すこととか、社会の仕組みを学ぶこととか、このプログラムの意義は大きいと思います。ただ、5年を経過いたしましたので、方法を見直す時期に来たのではないかと思います。もう少し対象年代を絞り、創業・起業に結びつ